

保健体育科調査資料 作成の観点

書名 項目	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> ○○○○ ○○○○○ </div>	発行者番号 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">発行者名</div>
内 容	<p>＜知識及び技能が習得されるようにするための工夫＞</p> <p>○個人生活における健康・安全について理解し、基本的な技能を身に付けるために、どのような工夫が見られるか。</p> <p>＜思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫＞</p> <p>○健康についての自他の課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養うために、どのような工夫が見られるか。</p> <p>＜学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫＞</p> <p>○心身の健康の保持増進を目指し、明るく豊かな生活を営む態度を養うために、どのような工夫が見られるか。</p> <p>＜生涯にわたり心身の健康を保持増進し、豊かなスポーツライフを実現する資質・能力を育成するための工夫＞</p> <p>○健康・安全について科学的に理解するために、どのような工夫が見られるか。</p> <p>○体育分野と保健分野の相互の関連が図られるように、どのような工夫が見られるか。</p> <p>○運動やスポーツの意義や多様性について理解するために、どのような工夫が見られるか。</p>	
資 料	<p>○学習内容を理解しやすくするために、どのような工夫が見られるか。</p> <p>○生徒の学習意欲を喚起するために、どのような工夫が見られるか。</p> <p>○主体的・対話的で深い学びの実現を図るために、どのような工夫が見られるか。</p>	
表記・表現	<p>○生徒が学習しやすいよう、レイアウトや表現等にはどのような工夫が見られるか。</p> <p>○脚注、注釈等には、どのような工夫が見られるか。</p> <p>○記号、用語等には、どのような工夫が見られるか。</p>	
総 括	(全体的な特徴、その他)	

<p>書名</p> <p>項目</p>	<h1>新しい保健体育</h1>	<p>2</p> <p>東 書</p>
<p>内 容</p>	<p><知識及び技能が習得されるようにするための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○見開き2ページ1単位を学習することを基本とし、「見つける」「学習課題」「課題の解決」「広げる」の4ステップが学習の流れとして配置され、章末の「学習のまとめ」「確認の問題」では、知識の習得状況を確認できるよう工夫されている。 ○実習のページでは、課題に対応したイラストや資料、デジタルコンテンツが設けられており、写真や動画を活用し、技能が習得できるよう工夫されている。 <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○「見つける」「学習課題」「課題の解決」「広げる」では、それぞれのステップに応じて発問が設定されており、課題の合理的な解決を通して、思考力、判断力、表現力等を育成することができるよう工夫されている。 ○「活用する」では、習得した知識・技能を活用して、他者に説明したり、話し合ったりする活動を通じて、思考を深める活動ができるよう工夫されている。 <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○巻頭に「この教科書の使い方」等が掲載され、「見つける」「学習課題」「課題の解決」「広げる」の4ステップ構成を理解し、主体的に取り組めるよう工夫されている。 ○各単元の「広げる」や章末の「日常生活に生かそう」には、学習内容を実生活に当てはめて考える活動が設けられ、意欲を喚起するように工夫されている。 <p><生涯にわたり心身の健康を保持増進し、豊かなスポーツライフを実現する資質・能力を育成するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○保健分野各単元の「見つける」「学習課題」「課題の解決」「広げる」の活動を通して、身に付いた資質・能力を活用することができるよう工夫されている。 ○インターネットを使った学習のページを用いて、他教科等との関連が深められるように工夫されている。 ○様々な形でスポーツに関わる姿が示され、生涯にわたってスポーツに親しむ楽しさや、交流する意義などが考えられるよう工夫されている。 	
<p>資 料</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○各章末に「章末資料」「確認の問題」「活用の問題」「日常生活に生かそう」が設けられ、学習内容の理解が深められるような工夫が見られる。 ○充実した口絵に加え、「教科書の使い方」「保健体育の学習方法」が示され、よりよく学習できるような工夫が見られる。 ○「Dマークコンテンツ」を示し、インターネット学習ができるような工夫が見られる。 	
<p>表記・表現</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○本文などには、UDフォントが使用されている。 ○単語や文章、文末に補足説明や関連資料へのリンクを示す工夫が見られる。 ○8個のマークを示し、学習を深めたり、他教科や他ページとのつながりを示すような工夫が見られる。 	
<p>総 括</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○各章の扉に、小・中・高等学校の学習内容の系統性が明記されている。 ○「見つける」「学習課題」「課題の解決」「広げる」という学びの筋道が見える構成になっており、各単元に登場するキャラクターが学習のヒントを提示している。 ○各章末には、発展的な資料があり、知識の習得状況を確認する「章末資料」「確認の問題」「活用の問題」「日常生活に生かそう」が設けられている。 	

<p>書名</p> <p>項目</p>	<h1>中学校保健体育</h1>	<p>4</p> <p>大日本</p>
<p>内 容</p>	<p><知識及び技能が習得されるようにするための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○1時間の学習の流れを「学習のねらい」「つかもう」「課題を解決しよう」「深めよう」「まとめよう」「活かそう」と構成し、資料を活用しながら学習できるよう工夫されている。 ○資料やイラスト、実技の写真を活用し、デジタルコンテンツも使い技能の習得に役立てるよう工夫されている。 <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○「つかもう」「やってみよう」「話し合ってみよう」「調べてみよう」「活用して深めよう」では、課題の発見・解決・学習したことを活かすなどのさまざまな活動により、思考力、判断力、表現力等を育成することができるよう工夫されている。 ○「学びを活かそう」では、学習したことを理解し、生活に生かすための課題を設定し、対話を通して思考を深める活動を通して、深い学びが実現できるよう工夫されている。 <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○口絵では、生徒が学習する重要性を理解し、自分のこととして捉え、主体的に取り組むことができるよう工夫されている。 ○「つかもう」では、身近な題材や生活について取り上げることで、主体的に学習に取り組む態度を育むことができるよう工夫されている。 <p><生涯にわたり心身の健康を保持増進し、豊かなスポーツライフを実現する資質・能力を育成するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○「学びを活かそう」では、各章ごとに、自分で考え実践していく内容が設けられており、生涯にわたって実践する資質や能力を養う工夫がされている。 ○他教科等とのつながりを「保健編」「体育編」「他教科」に分けて示し、関連が深められるように工夫されている。 ○運動やスポーツの必要性や楽しさ、様々な関わり方が示されており、運動やスポーツに親しむ資質や能力を育成する工夫がされている。 	
<p>資 料</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○豊富な写真や、現代的なテーマの口絵に加え、「教科書の使い方」や「1時間の学習の主な流れ」のページが示され、見通しをもって学習ができるような工夫が見られる。 ○章末の「学びを活かそう」で記入欄を広く設け、表現力を高められるような工夫が見られる。 ○ウェブサイト内で動画等を使ったインターネット学習ができるよう工夫されている。 	
<p>表記・表現</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○本文などには、UDフォントが使用されている。 ○単語や文章や文末に補足説明や関連資料へのリンクを示す工夫が見られる。 ○10個のマークを示し、学習を深めたり、他教科や他ページとのつながりを示すような工夫が見られる。 	
<p>総 括</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○各章の扉に「この章で学習すること」として、課題と学習の流れが示され、小・中・高等学校の学習内容の系統性が明記されている。 ○本文と資料が明確に分かれた構成となっており、参照性を高める作りとなっている。 ○「学習のまとめ」では豊富な関連資料等を基に幅広い知識を習得し、発展させるような内容が示してある。 	

書名 項目	最新 中学校保健体育	50 大修館
内 容	<p>＜知識及び技能が習得されるようにするための工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○各学習項目で見開き1ページを1単位時間とし、学びを3ステップ構成「つかむ（章とびら）」「身につける・考える（学習項目：本文・資料）」「まとめる・振り返る・深める（章のまとめ）」とし、確実に知識を習得できるよう工夫されている。 ○イラストや図表が豊富に掲載され、視覚的にも知識と技能の習得に役立つよう工夫されている。 <p>＜思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「つかむ」「身につける・考える」「まとめる・振り返る」では、3ステップで構成することで、多様な導入活動を提示し、課題解決的な学習活動を通じて、思考力、判断力、表現力等を育成することができるよう工夫されている。 ○「学習のまとめ」では、多様な表現活動を提示し、次の学びにつなげたり、実生活で活用したりすることができるよう工夫されている。 <p>＜学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○口絵に「教科書の使い方」が掲載され、「つかむ」「身につける・考える」「まとめる・振り返る」という構成で、主体的に学習に取り組めるよう工夫されている。 ○单元ごとに「きょうの学習」が記載され、この授業で何を学ぶかが明確化されることにより、学習への意欲が高まるよう工夫されている。 <p>＜生涯にわたり心身の健康を保持増進し、豊かなスポーツライフを実現する資質・能力を育成するための工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○生活に関連した情報を提供する「コラム」「事例」や、実生活に生かして考える課題「体育の窓」「保健の窓」を通して、実践力を養う工夫がされている。 ○関連するコラムや資料の近くに各種マークを記載し、他教科等との関連が深められるように工夫されている。 ○運動やスポーツには多様な関わり方や楽しみ方が記載され、興味・関心、能力に応じて運動やスポーツが楽しめるよう工夫されている。 	
資 料	<ul style="list-style-type: none"> ○各章末に「章のまとめ」を設け、基礎・基本の習得や確認の問題が示されている。「学習の振り返り」を設け、知識・技能の定着度などの評価ができるよう工夫されている。 ○「特集資料」や「クローズアップ」を設け、深く学習できるような工夫が見られる。 ○画像や動画等のオリジナルデジタルコンテンツがあり、インターネット学習ができるような工夫が見られる。 	
表記・表現	<ul style="list-style-type: none"> ○本文などには、UDフォントが使用されている。 ○単語や文章や文末に補足説明や関連資料へのリンクを示す工夫が見られる。 ○6個のマークを示し、学習を深めたり、他教科や他ページとのつながりを示すような工夫が見られる。 	
総 括	<ul style="list-style-type: none"> ○「章のとびら」に小・中・高等学校の学習内容の系統性が明記されている。 ○学ぶことや学び方の解説を示し、使用文字や色彩、紙面レイアウト、イラストについては、見やすく構成されている。 ○章末「章のまとめ」により、基礎・基本の習得を確認し、定着度が評価できるような構成となっている。 	

<p>書名</p> <p>項目</p>	<h1>中学保健体育</h1>	<p>2 2 4</p> <p>学 研</p>
<p>内 容</p>	<p><知識及び技能が習得されるようにするための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○すべての項目に「目標」「つかむ」「考える・調べる」「まとめる・深める」で構成され、「キーワード」を掲載し、その時間で習得した知識を活用する学習活動ができるように工夫されている。 ○身に付けるべき技能については「マーク」をし、イラストや写真を掲載し、インターネットやデジタル教材でも学習を深めることができる工夫がされている。 <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○「学習の目標」「課題をつかむ」「考える・調べる」「まとめる・深める」では、各項目に「見方・考え方」を設け、これらを働かせて思考力、判断力、表現力等を育成することができるよう工夫されている。 ○「まとめる・深める」では、身に付けた知識を基に、自他の課題を見つけ、解決に向けた活動を通じて、実生活に生かせるよう工夫されている。 <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○学習内容を活用する活動を通じて、「今・未来」を考える課題があり、自分の未来やキャリアを考える言葉が示され、実践できるように工夫されている。 ○学習の進め方が掲載され、学習方法についてはイラスト付きの説明があるため、主体的に学習に取り組めるよう工夫されている。 <p><生涯にわたり心身の健康を保持増進し、豊かなスポーツライフを実現する資質・能力を育成するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○「保健体育と情報」や「情報サプリ」のコーナーを通して、健康安全について科学的に理解し、健康の保持増進に生かす工夫がされている。 ○「キーワードで見る保健体育の学習内容」では、学習項目をキーワードでまとめ、他教科等との関連が深められるように工夫されている。 ○スポーツとの多様な向き合い方が示され、運動の得意不得意に関係なく、生涯にわたってスポーツに親しむための資質や能力を養う工夫がされている。 	
<p>資 料</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○各章末に「章のまとめ」と「学年のまとめ」を設け、自己の評価や振り返りの欄が設けてある。基礎・基本の習得や確認のための問題が示されている。 ○巻頭で「ディスカッション」「ブレインストーミング」「実習・実験」「調査方法」等様々な学習の進め方がイラスト付きで解説されている。 ○デジタルコンテンツがあり、インターネット学習ができるような工夫が見られる。 	
<p>表記・表現</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○本文などには、UDフォントが使用されている。 ○単語や文章や文末に補足説明や関連資料へのリンクを示す工夫が見られる。 ○10個のマークを示し、学習を深めたり、他教科や他ページとのつながりを示すような工夫が見られる。 	
<p>総 括</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○各章の始めに、章で学習することの課題と学習の流れが示され、小・中・高等学校の学びの系統性が示されている。 ○四つのステップ学習の流れに沿って、学習内容の要素を見やすく構成されている。 ○巻末には、豊富な関連資料等が掲載され、幅広い知識を習得し、発展させられるような内容構成となっている。 	

保健体育科 調査資料 2

○分量について

内容	東書	大日本	大修館	学研
1 総ページ数 ※ 目録に記載されたページ数	206	194	198	206
2 体育理論、保健分野のページ数 (体育理論/保健分野)	37/136	40/122	40/132	38/132
3 絵・巻末の総ページ数	27	27	23	26

○単元別ページ数

東書	<ul style="list-style-type: none"> ○体育編 37 ページ 「運動やスポーツの多様性」 11 ページ 「運動やスポーツの意義や効果と学び方や安全な行い方」 15 ページ 「文化としてのスポーツの意義」 11 ページ ○保健編 136 ページ 「健康な生活と疾病の予防」 56 ページ (① 14 ページ② 20 ページ③ 22 ページ) 「心身の機能の発達と心の健康」 30 ページ 「傷害の防止」 30 ページ 「健康と環境」 20 ページ
大日本	<ul style="list-style-type: none"> ○体育編 40 ページ 「運動やスポーツの多様性」 12 ページ 「運動やスポーツの意義や効果と学び方や安全な行い方」 16 ページ 「文化としてのスポーツの意義」 12 ページ ○保健編 122 ページ 「健康な生活と病気の予防」 50 ページ (① 14 ページ② 18 ページ③ 18 ページ) 「心身の発達と心の健康」 25 ページ 「傷害の防止」 29 ページ 「健康と環境」 18 ページ
大修館	<ul style="list-style-type: none"> ○体育編 40 ページ 「運動やスポーツの多様性」 12 ページ 「運動やスポーツの効果・学び方・安全」 16 ページ 「文化としてのスポーツ」 12 ページ ○保健編 132 ページ 「調和のとれた生活」 12 ページ 「生活習慣の健康への影響」 22 ページ 「感染症の予防と健康を守る社会の取り組み」 22 ページ 「心身の発達と心の健康」 30 ページ 「けがの防止と応急手当」 24 ページ 「環境の健康への影響」 22 ページ
学研	<ul style="list-style-type: none"> ○体育編 38 ページ 「スポーツの多様性」 12 ページ 「スポーツの意義や効果と学び方や安全な行い方」 12 ページ 「文化としてのスポーツ」 14 ページ ○保健編 132 ページ 「健康な生活と病気の予防」 56 ページ (① 16 ページ② 22 ページ③ 18 ページ) 「心身の発達と心の健康」 28 ページ 「傷害の防止」 28 ページ 「健康と環境」 20 ページ

○領域別教材数等について

内容		東書	大日本	大修館	学研
領域別 教材数	運動やスポーツの多様性	3	3	3	3
	運動やスポーツの意義や効果と学び方や安全な行い方	3	3	3	3
	文化としてのスポーツの意義	3	3	3	3
	健康な生活と疾病の予防	21	17	20	14
	心身の機能の発達と心の健康	10	9	12	8
	傷害の防止	8	8	8	6
	健康と環境	5	6	8	7

○その他

内容		東書	大日本	大修館	学研
1	体育分野と保健分野の関連をもたせた教材数 ※「欲求やストレスへの対処」と「体ほぐしの運動」等	45	49	47	34
2	主体的・対話的で深い学びを促すための教材数 ※「考えてみよう」「話し合ってみよう」「調べてみよう」等	248	156	117	170
3	発展的内容の教材数	17	15	18	18